

研究課題名	画像解析ソフトウェアを用いた眼病理標本画像の解析
研究の意義・目的	<p>意義：眼の周りの腫瘍は高齢化とともに増加していますが、一般的に遭遇することは少なく診断する事に苦慮する事も多いため、客観的な観点から今後、コンピューターや人工知能を用いた診断ソフトの開発が必要と考えられています。</p> <p>目的：本研究は大阪公立大学が中心となつて行う研究です。眼疾患の病理標本画像に関して、画像解析を用いた研究は発展途上の段階にありあますので、医用画像処理について研究を行います。</p> <p>従来、視覚評価していたヒトの眼組織の病理に関する新たな定量評価方法を開発すべく、眼の病理標本画像を位相幾何学にもとづく画像解析が可能なソフトウェアで読み込み、既存の正常構造、腫瘍、炎症変化の鑑別等に対応できるためにデータを収集することです。</p>
研究を行う期間	研究機関の長の研究実施許可日～2027年3月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	大阪公立大学医学部附属病院もしくは神戸海星病院で2008年4月1日以降に眼腫瘍疾患の診断・治療目的に手術で眼の一部を切除され、病理診断を受けた患者さんのうち、病理標本画像が取得可能な患者を対象とします。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。</p> <p>診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像、MRI画像、病理写真】</p>
試料・情報の他機関への提供	<p>この研究は神戸海星病院から大阪公立大学へ情報の提供を行います。</p> <p>この研究は 神戸大学放射線診断科へ頂いた情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。</p>
この研究を行っている共同研究機関	<p>大阪公立大学医学研究科視覚病態学</p> <p>本研究における役割： 情報の取得・提供、試料の取得・提供、解析</p> <p>【研究責任者】所属：視覚病態学 氏名：田上瑞記</p> <p>神戸大学医学部附属病院 研究での役割：試料の解析</p> <p>【研究責任者】所属：放射線診断・IVR学 氏名：西尾瑞穂</p> <p>神戸海星病院 研究での役割：情報の取得・提供、試料の取得・提供</p> <p>【研究責任者】所属：眼科 氏名：安積淳</p>
試料・情報を管理する責任者	<p>大阪公立大学大学院医学研究科</p> <p>【研究代表者】所属：視覚病態学 氏名：田上瑞記</p>
本研究の利益相反	<p>利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。</p> <p>本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。</p>
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	<p>大阪公立大学 大学院医学研究科</p> <p>【責任者】所属：視覚病態学 氏名：田上瑞記</p> <p>電話番号：(06) 6645-3867</p> <p>メールアドレス：tagami.mizuki@omu.ac.jp</p>